

日刊米穀市況速報

メール版

発行 (株)米穀データバンク

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-4-6 岩本町高橋ビル
TEL 03-3863-5391(代) TEL 03-3864-9472(編集部) FAX 03-3864-9474

発行人 / 高橋芳郎 編集人 / 佐藤隆志

7/26(木)

禁無断転載・複製

Contents

メール版の転送・配布、サーバーアップは著作権の侵害(違法コピー)にあたります

今日の焦点	過剰作付け2万9千haの見込み 播種前・収穫前契約等で108万トン(全農)..... 2
米穀情報	事業利益44億円、2年連続で黒字決算(全農)..... 3 米穀事業は前年比93%の6,912億円..... 3 系統相対は南国の800円安と格差拡大(高知ナツ)..... 3 徳島コシの概算金、2,400円高で決定..... 3 西都・はまゆうで25日にコシ初検査(宮崎)..... 4 放射性物質検査、対象点数は去年の10倍(栃木)..... 4
今日の先物市場	東穀はほぼ横這い、関西は軟調..... 4 低温で障害不稔の発生状況を注視(宮城)..... 5 あきたこまち、出穂期は平年並み(茨城)..... 5 新潟コシ、草丈並み・茎数多い(19日現在)..... 5 前年並みの2万2千トン成約(加工MA4~6月分)..... 5 米ぬか11月限870円(京浜飼料懇)..... 5
週央チェック	九州のタイト感、やや薄まる..... 6
各地の相場	【近畿】新潟コシ1,980円セール..... 7
売買情報	日本農産情報・売り買いメニュー..... 8
資料	全農の地域別出荷契約見込み(6月末現在)..... 9

今日のグラフ

全国的におおむね平年並みに近い天候経過が予想されているが、8月の北・東・西日本と9月の沖縄・奄美は、平年に比べて太平洋高気圧に覆われやすく「高温傾向」が見込まれている。

8~10月天候見通し

※気象庁、向こう3ヶ月の気温の各階級の確率

	低い	平年並	高い
北日本	30	30	40
東日本	20	40	40
西日本	30	30	40
沖縄・奄美	30	40	30

今日の焦点

過剰作付け2万9千haの見込み

播種前・収穫前契約等で108万トン(全農)

別稿の全農の第36回通常総代会で注目されるのは、やはり24年産米の取扱数量拡大に対する取り組み内容とその進行状況。

既報のように全農は、生産者からJAへの出荷を全国生産数量目標の過半となる400万トン、JAから全国本部への出荷を300万トン以上とする集荷目標を掲げて推進してきた。しかし、6月末現在における地域別出荷契約の見込数量は資料ページに掲載したとおりで、生産者からJAへの数量は前年集荷実績361万トンに比べ12万トン増加しているものの、目標数量に届かず373万トンにとどまっている。また、JAから連合会への出荷契約は 出荷契約提出JAが全体の8割程度にとどまっている 出来秋の価格水準が示されるまで、一部数量を保留し様子見をしているJAがある - - ことなどを理由に、前年の出荷契約数量308万トンを下回る296万トンとなっていると報告した。

一方、販売面については、下表をみれば分かるとおり播種前・収穫前・複数年契約がすでに前年実績を2万5千トンほど上回る108万トンの成約となる見込みという。だが、販売先の契約希望数量は152万トン(充足率は71%)にまで上っており、それに応えられていないのが現実。そのため前述した集荷数量の増大が必要であり、出荷契約の積み上げにより販売先の希望数量に近づけるようJAに協力を求めた格好。

また24年産米の販売価格については、出回り開始時期に価格が大幅に上昇し、その後作柄状況も含めた全体需給を反映した価格水準に落ち着くものと想定。そのうえで市中相場に応じた柔軟な販売価格設定を行うと説明。もうひとつ、出来秋対策として 時期別概算金 委託非共計 買い取りなどの手法 - - 等により機動的な集荷価格を設定する。そして(1)適用期間の限定(2)対象銘柄の限定(3)JAごとの数量限定など、通年対策とは異なる対策として実施するとした。特に概算金については、「全体需給、産地・銘柄別需給、作柄動向、市中相場等を十分勘案しながら、競争力のある水準を提示する」ことを前面に押し出した。

もうひとつ重要な24年産米の作付面積についても別表のように推定している。主食用等で約2万9千ha(数量ベースで15万4,900トン相当)の過剰作付けが見込まれると予測しているもので、作柄同様、その動向が気になるところ。

播種前・収穫前・複数年契約の取組状況(6月末現在) (単位:千トン、%)

年産	6月末成約見込み				取引先からの購入希望		充足率	
	播種前・複数年契約a	収穫前契約b	合計c=a+b	うち3・4者契約	年間希望d	播種前・収穫前等の希望e	f=c÷d	g=c÷e
24年産	257	823	1,080	428	2,282	1,517	47%	71%
23年産(実績)	0.2	1,055	1,055	93	-	-	-	-

(注)播種前契約は12県が取り組み、7県で成約。複数年契約は4県が取り組み、2県で成約。収穫前契約は25県が取り組み、23県で成約する見込み。

24年産米の作付動向(全農調査・推定、6月15日現在) (単位:ha)

年産	水稻作付面積合計	水稻作付面積の内訳							水稻以外作付面積合計
		主食等用	加工用米	新規需要米				備蓄米	
				飼料用米	米粉用米	WCS	その他		
24年産a	1,638,099	1,528,286	30,940	32,418	6,715	23,412	2,114	13,877	566,855
23年産b	1,629,701	1,524,674	28,101	33,760	7,303	22,201	2,010	12,151	569,879
24-23 a-b	8,398	3,612	2,838	▲ 1,341	▲ 588	1,211	104	1,726	▲ 3,024
24/23 a/b	100.5%	100.2%	110.1%	96.0%	91.9%	105.5%	105.2%	114.2%	99.5%
参考	24年産生産調整目標面積c	1,499,220							
	24年産過剰作付面積a-c	29,066	→各県の平年単収で試算すると、約154,900トンの「過剰」が見込まれる。						

米穀情報

事業利益44億円、2年連続で黒字決算(全農)

全農は25日、都内のホテルで第36回通常総代会を開催し、平成23年度事業報告および余剰金処分、農業施設を利用した発電支援事業の構築と合同会社の設立など、提出議案どおり承認した。

事業報告によると、取扱高は計画4兆7,431億円に対して実績4兆8,028億円(計画比101%)となり、計画を若干上回った。ただし、前年実績との比較では約230億円ほど減少させている。これを事業別にみると、園芸農産事業・畜産事業は原発事故の影響による価格の低迷等により、計画割れ。一方、本紙関連の米穀事業については、市場の不足感からくる価格の上昇、営農・生産資材事業は震災の影響により前年度に予定されていた工事が今年度計上となったことなどで取扱高が増加、また生活関連事業は原油価格に連動し石油・ガスが高値で推移したことから、それぞれ計画を上回ったと報告した。そのため事業利益は計画14億88百万円に対して実績43億58百万円の黒字となった。2年連続で黒字。

米穀事業は前年比93%の6,912億円

本紙関連の米穀事業の23年度の取扱高は計画6,362億円に対して、実績は6,912億円となり計画対比109%。ただし、前年実績(7,415億円)と比べると93%(金額ベースで503億円)となり、前年割れとなった。内訳はパールライス部門が計画472億円に対して489億円の実績(計画比103%)となって好調。このパール部門は前年実績との対比でも108%と大幅な取扱高増を示している。価格上昇が功を奏した格好か。米麦販売は6,423億円の実績で計画を大きくオーバー(計画比109%)したものの、前年の実績と比べると92%と前年割れとなった。

系統相対は南国の800円安と格差拡大(高知ナツ)

高知ナツヒカリの系統相対価格は、出回りから8月1日まで1等1万7,000円(大阪・裸)に決まった。前年産米のスタート価格(~7月27日)に比べ2,800円高。南国そだちとの価格差は、前年産米の300円から800円に拡大された。

概算金はナツヒカリで31日まで1万5,000円(前年産のスタート価格比3,600円高)。検査は25日に僅かな数量で行われた模様だが、本格化するのには来週に入ってからの見込み。南国そだちは25~31日まで、1万5,600円(前期比400円安)に改訂された。某販売業者筋では「仕入れた玉は1等が8割近くあり、食味も甘みがあるなど満足のいく出来。ただ、農家によると、反収は8俵を下回るとのことで、1俵程度少ないようだ」としている。

徳島コシの概算金、2,400円高で決定

徳島のJA系統による概算金が決まった。コシヒカリは16日まで1等1万6,400円で、前年産米のスタート価格(~8月12日)に比べ2,400円高。ハナエチゼンなどその他品種を含めた期間別の価格は別表の通り。県内の収穫は、早い地帯で28日頃にハナエチゼンで始まる見通し。ピークは8月3~5日頃が想定され、10~12日頃ではほぼ終わるもよう。コシヒカリの収穫は11~12日から始まる見込み。

24年産米の概算金(徳島)

60kg、円

品種	~8/9	10~16	17~21
コシヒカリ	16,400	16,400	16,000
ハナエチ・キヌ・こまち	14,600	14,000	13,000
その他	14,000	13,400	12,400

※1等基準。2等は1等比1,000円安、3等は2,600円安。

西都・はまゆうで25日にコシ初検査(宮崎)

宮崎・JA西都で24日、きり宮崎の初検査が行われた。受検数量は141袋(30キロ)で、全量1等の格付け。25日はコシヒカリで約1,000袋の実施。同じく全量が1等となった。コシヒカリの概算金は「25日までが1万9,000円、26~29日1万8,000円、30~31日1万7,000円、8月1日以降は1万6,000円と聞いている」(業者筋)という。

JAはまゆうは25日、あきたこまちとコシヒカリで初検査を行った。午前段階であきたこまち約1,100袋を実施。等級は1等78%、2等22%となった。2等の格付け要因は「青未熟の混入による」(関係筋)としている。コシヒカリは約500袋を予定。「作柄は平年並み。ただし、傾いたところを含めると、倒伏したところが約3割ある」としており、今後、収量・品質に影響が出る可能性も。あきたこまちの概算金は、全期間で1等1万6,000円(JA米、一般米は300円安。以下同)。コシヒカリは7月31日まで1万7,000円、8月1~8日1万6,000円、9~31日1万5,000円。両品種とも、2等は1等比600円安、3等は1,600円安。規格外は時価。なお、コシヒカリは追加精算を9月下旬~10月上旬を目処に実施する考え。区分は 7月25日 26~27日 28~29日 30~31日 8月1~3日 4~8日 - と細分化されており、時期ごとで金額は異なる。

放射性物質検査、対象点数は去年の10倍(栃木)

栃木県でも県内関係者に「24年産米のモニタリング検査」の概要を説明した。国の指針に基づき、検査区域の設定と検査密度が設定され、1ha当たり1点の重点検査区域は日光市・那須町・鹿沼市内の9旧市町村で、検査点数は2,384点。70haごとに1点の重点検査区域は24旧市町村で、検査点数は185点となった。市町村ごとに3点以上の重点区域以外は75点となり、合計検査点数は2,644点と見込まれる。検査区域ごとに全検体の検査結果が判明するまで出荷待機となるが、検査点数が23年産米の10倍以上となるため、県では、まず農業振興事務所のNaIシンチレーション検出器9台によりスクリーニングを行い、50Bq/kgを超えた場合は農業試験場のゲルマニウム半導体検出器により確定する、という検査態勢を示している。

先行している24年産麦類(二条大麦、六条大麦、小麦)のモニタリング検査では、427点が検査対象になっており、20日現在で119点が検査済み。検出限界値を超えているのは麦の1点のみ(セシウム137 = 2.82Bq/kg)となっている。

今日の コメ先物

2012/7/25

◆東穀はほぼ横這い、関西は軟調

東穀は動意薄で、ほぼ横這いで推移。九州産新米の出回りを控え、様子見ムードが強まり、先週からの上げ下げも一服した。関西は寄り付きから手じまいの売りが進み、総じて小幅続落。期近8月限は1万6,000円を割った。

東京穀物 商品取引所		8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	1月限	出来高
帳入値段		15,310	15,200	15,510	15,650	15,650	15,570	-
前日比		+50	0	-10	0	0	0	-
出来高		12	28	30	51	56	80	257
前日取組		82	139	313	222	458	59	1,273

関西商品 取引所		8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	1月限	出来高
限月		8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	1月限	出来高
終値		15,990	15,800	16,010	16,000	15,840	16,140	-
前日比		-60	-60	0	-10	-10	0	-
出来高		24	38	76	94	130	142	504
前日総取組高		20	18	141	50	566	560	1,355

低温で障害不稔の発生状況を注視(宮城)

宮城県農林水産部がまとめた24年産水稻の生育状況(20日現在)は、草丈が65.7cm(平年比94%)、茎数516本(同97%)、葉数11.3枚(同10.4枚)。「県内の水稻は8日~18日頃にかけて幼穂形成期に入っており、生育の進んでいるほ場では減数分裂期に達しているところもある。19日~22日にかけて最低気温が17度を下回ることがあったことから、障害不稔の発生状況を注視している。今後の気温が平年並みで推移した場合、北部平坦部における中生品種(ひとめぼれ等)の出穂期は8月8日頃になるものと見込まれる」としている。

あきたこまち、出穂期は平年並み(茨城)

茨城県農業総合センターがまとめた水稻の生育状況によると、20日現在の水戸市では、5月1日移植のあきたこまちは穂揃い期に入っており、出穂期は7月18日で平年並み。コシヒカリは5月1日移植分が穂ばらみ期で、出穂期は2日遅い予測。5月10日移植分は幼穂形成期で、平年並みに推移している。

新潟コシ、草丈並み・茎数多い(19日現在)

新潟県農林水産部がまとめた24年産水稻生育状況(7月19日現在)によると、コシヒカリの生育は、指標値に比べ草丈は並み、茎数は多く、葉色はやや濃く、葉数は並みとなっている。地域別では、新発田、新津、巻、魚沼地域で葉色が濃い状況。コシヒカリの出穂期は平年並みの見込み。一方、こしいぶきの生育は、草丈は並み、茎数は多く、葉色・葉数は並みで、コシヒカリとほぼ同様の傾向。

前年並みの2万2千トン成約(加工MA4~6月分)

加工用MA米の24年4~6月分成約量は2万2,137トン(沖縄向けを除く)で、前期比86.2%、前年同期比102.2%となった。長期分の販売価格は、米国・タイ産うるち米とも前期(1~3月分)とほぼ変わらず。長期・月別の成約数量と産地種類別の販売価格は別表の通り。

■販売価格(加重平均)

	うるち米			もち米
	米国		タイ	タイ
	玄米	精米	精米	精米
長期分	—	105,635	87,965	—
4月分	—	109,766	91,385	130,344
5月分	—	109,020	90,980	123,628
6月分	177,000	108,664	91,702	—

※長期分は24年4~6月分。各月(長期を含む)とも複数回実施した合計。沖縄向けを除く。

加工用MA米の定例販売結果(数量)

単位:トン

	4~6月分		4月分		5月分		6月分	
	申込	成約	申込	成約	申込	成約	申込	成約
うるち	21,770	17,497	1,442	1,200	921	799	2,063	1,891
もち	—	—	866	684	49	43	23	23
合計	21,770	17,497	2,308	1,884	970	842	2,086	1,914

※24年4~6月分。沖縄向けを除く。

米ぬか11月限870円(京浜飼料懇)

京浜飼料懇話会は24日、7月例会を開催した。席上商いでは、米ぬか73車、ふすま73車の計146車が成約した。米ぬかは7月限~10月限ともに変わらず、11月限は870円(前年同期比50円高)が出来た。「米国の干ばつでメイズ、大豆、小麦などシカゴ相場が急騰しており、今後、糟糠類に重点が置かれ、配合飼料向けに引っ張られるのではないか」(関係筋)などが材料になった。出来値及び出来高は以下の通り。

京浜飼料懇話会の24年7月例会出来値
24日開催

単位:円、置場渡し

<ふすま>				建値20kg				<米ぬか>				30kg				
	出来値	出来高		前月比	前年比		出来値	出来高	前月比	前年比		出来値	出来高	前月比	前年比	
▽7月限	420	13車	±0	▲40		▽7月限	740	13車	±0	▲40		▽7月限	740	13車	±0	▲40
▽8月限	420	13車	±0	▲30		▽8月限	800	13車	±0	▲5		▽8月限	800	13車	±0	▲5
▽9月限	430	13車	±0	▲20		▽9月限	840	13車	±0	+30		▽9月限	840	13車	±0	+30
▽10月限	430	16車	±0	▲20-30		▽10月限	850	16車	±0	+40		▽10月限	850	16車	±0	+40
▽11月限	450	18車	—	▲10		▽11月限	870	18車	—	+50		▽11月限	870	18車	—	+50
合計		73車				合計		73車				合計		73車		

週央チェック 九州のタイト感、やや薄まる

九州地区の卸業界では、タイト感がやや薄まりつつある。「先週末から、政府備蓄米の入庫がスタート。23年産相場は相変わらず高いままだが、在庫状況はやや改善している」(福岡A卸)という。佐賀夢しずくなど21年産米は食品スーパー等のブレンド米商品に、19年~20年産米は炊飯ベンダーや地場の弁当チェーン向けにそれぞれ使われる予定とされる。「浮いた23年産米は、量販店や生協向けに振り向けられる計画で進んでいる」との指摘も。

市中取引は、小安くなった関東・新潟コシヒカリなどが東~西の小売筋に幅広く拾われている。新米の商談は西日本中心で、関東市場では様子見が多い。

出来高指数	145
7月24日(火)	

●日本農産情報 成約例● ※国内産で年産表記のないものは23年産です。

	品目・規格	数量	条件	価格
①	青森産まっしぐら 1等	200俵	関東置	16,400 円
②	秋田産あきたこまち 1等	90俵	東北着	18,400 円
③	福島産コシヒカリ 1等	220俵	中部着	16,550 円
④	関東産コシヒカリ ㊦ 1・2等格	230俵	関東置	15,900 円
⑤	関東産雑品種 ㊦ 1・2等格	220俵	山陽着	16,350 円
⑥	茨城産コシヒカリ 1・2等	230俵	近畿着	16,800 円
⑦	新潟産コシヒカリ 1・2等(JA 半々)	200俵	中部着	18,000 円
⑧	新潟産こしいぶき 1等	90俵	近畿着	17,100 円
⑨	富山産コシヒカリ 1等	60俵	関東着	17,550 円
⑩	岡山産アケボノ 2等	200俵	山陽置	16,800 円

㊦=政府米 ㊦=未検米 着=着値 置=置場価格 「1・2等」とある場合の価格は1等基準。

自由米相場 近畿

※10トン以上の仲間相場
 ※大阪市内着値基準
 ※単価は1俵当たりの税抜き表示

[注]①は1等、②は2等、
 ㊦は未検米

■うるち米 (23年産)

前回比

北海道	きらら397	①	17,400 円	～	17,600 円	
青森全県	つがるロマン	①	17,600 円	～	17,700 円	
青森全県	まっしぐら	①	17,300 円	～	17,500 円	
岩手全県	ひとめぼれ	①	18,400 円	～	18,600 円	
宮城全県	ひとめぼれ	①	18,600 円	～	19,000 円	
秋田全県	あきたこまち	①	18,500 円	～	18,700 円	
山形全県	はえぬき	①	18,200 円	～	18,300 円	↓
福島会津	コシヒカリ	①	16,600 円	～	16,800 円	
福島中通り	コシヒカリ	①	16,500 円	～	16,700 円	
福島中通り	ひとめぼれ	①	16,500 円	～	16,700 円	
茨城全県	コシヒカリ	①	17,000 円	～	17,100 円	↓
茨城全県	コシヒカリ	㊦	16,300 円	～	16,400 円	↓
栃木全県	コシヒカリ	①	17,000 円	～	17,100 円	↓
栃木全県	あさひの夢	①	16,700 円	～	16,800 円	↓
千葉全県	コシヒカリ	①	17,000 円	～	17,100 円	↓
新潟一般	コシヒカリ	①	17,600 円	～	17,700 円	
富山全県	コシヒカリ	①	17,600 円	～	17,700 円	
石川全県	コシヒカリ	①	17,100 円	～	17,200 円	
福井全県	コシヒカリ	①	17,100 円	～	17,200 円	
岡山全県	コシヒカリ	①	17,500 円	～	17,600 円	↓
岡山全県	ヒノヒカリ	㊦	17,000 円	～	17,200 円	
岡山全県	アケボノ	②	16,800 円	～	17,000 円	

■もち米 (23年産)

山形全県	ヒメノモチ	①	13,700 円	～	13,900 円	
千葉全県	ヒメノモチ	①	13,700 円	～	13,800 円	
千葉全県	ヒメノモチ	㊦	12,900 円	～	13,100 円	
佐賀全県	ヒヨクモチ	②	13,900 円	～	14,000 円	
熊本全県	ヒヨクモチ	②	13,200 円	～	13,300 円	

新潟コシ1, 980円セール

関西地区の量販店では8月～9月初旬に、新潟コシヒカリの5キロ1,980円セールが各チェーンで実施される見込み。当初の予定ではなかったが、「販売進捗が悪く、次年度への影響を考慮して先週中に決めた」(大阪A卸)「産地から心配する声が出ていて、当社から提案する形で実施することになった」(大阪B卸)ことなどが背景にあるという。

売り買いメニュー

【東京】 03-3863-5371
 【大阪】 06-6353-3481
 【東北】 022-215-9981
 【札幌】 011-895-7631

【売】

	年産	産地	品目	等級	数量	条件	価格	備考	取扱
①	23	青森	つがるロマン	1等	180 俵	関東着	17,400 円	低温・未検50俵混載着 16,400円着混載	東北
②	23	青森	まっしぐら	1等	216 俵	関東着	16,800 円	JA・フレコン	東北
③	23	秋田	ミルキーQueen	2等	50 俵	東北置	15,600 円	低温	東京
④	23	茨城	コシヒカリ	1等	204 俵	関東置	16,600 円	低温 フレコン 農協	東京
⑤	23	茨城	コシヒカリ	1等	200 俵	関東置	16,400 円	今摺り	東京
⑥	23	千葉	ふさおとめ	1等	50 俵	関東置	16,300 円	低温 他ふさこがね1 等30俵同値	東京
⑦	23	新潟	コシヒカリ	1・2等	90 俵	近畿着	18,200 円	JA	大阪
⑧	23	富山	コシヒカリ	1等	200 俵	関東着	17,500 円	低温	東北
⑨	23	岡山	あきたこまち	2等	200 俵	山陽置	17,500 円	低温 引取8/10迄	大阪
⑩	23	香川	あきたこまち	2等	216 俵	近畿着	16,800 円	フレコン	大阪
⑪	22	会津	ひとめぼれ	1等	75 俵	関東置	15,700 円	JA・低温	東北
⑫	23	茨城	ヒメノモチ	1・2等	171 俵	関東置	12,700 円	低温 171.5俵1等8俵、 2等163.5俵格差500円	東京

【買】

①	23	北海道	ななつぼし	1等	50 俵	東北着	17,400 円		東北
②	23	岩手	ひとめぼれ	1等	200 俵	東北置	18,000 円	関東置場も可	東北
③	23	宮城	ひとめぼれ	1等	200 俵	東北置	18,500 円	関東置場も可	東北
④	23	宮城	ひとめぼれ	1・2等格	100 俵	東北置	17,000 円		東北
⑤	23	秋田	あきたこまち	1等	220 俵	東北置	17,800 円	8月納期	東北
⑥	23	栃木	コシヒカリ	1等	200 俵	北陸着	16,700 円		東京
⑦	23	新潟	コシヒカリ	1等	100 俵	関東着	17,500 円		東北
⑧	23	長野	コシヒカリ	1等	200 俵	関東着	17,000 円		東京

「1・2等格」など「格」のつくものは未検米。着＝着値 置＝置場価格。「1・2等」とある場合の価格は1等基準。

※お問い合わせは取扱欄の本社・支社・支局まで。

資 料

全農の地域別出荷契約見込み(6月末現在)

(単位:トン)

産地	23年産実績		24年産集荷目標		24年産出荷契約・集荷見込		前年実績との差		目標との差		回収率
	生産者→JA	JA→連合会	生産者→JA	JA→連合会	生産者→JA	JA→連合会	生産者→JA	JA→連合会	生産者→JA	JA→連合会	
	集荷実績	出荷契約実績	集荷目標	出荷契約目標	出荷契約	出荷契約	出荷契約見込	出荷契約見込	出荷契約見込	出荷契約見込	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦=⑤-①	⑧=⑥-②	⑨=⑤-③	⑩=⑥-④	
北海道	461,139	439,980	445,000	439,980	440,000	403,000	▲ 21,139	▲ 36,980	▲ 5,000	▲ 36,980	98%
東北	1,141,594	926,759	1,234,909	1,117,340	1,177,647	894,530	36,053	▲ 32,229	▲ 57,262	▲ 222,810	64%
関東・甲信	472,687	353,839	534,923	408,766	518,855	354,837	46,169	998	▲ 16,068	▲ 53,929	75%
北陸	596,257	516,907	627,000	581,900	621,492	479,343	25,235	▲ 37,564	▲ 5,508	▲ 102,557	99%
東海	148,931	123,368	158,418	134,418	150,383	122,087	1,452	▲ 1,281	▲ 8,035	▲ 12,331	82%
近畿	155,283	139,985	172,710	150,000	171,481	140,380	16,198	395	▲ 1,229	▲ 9,620	57%
四国	94,822	84,580	89,000	88,075	86,645	69,152	▲ 8,177	▲ 15,418	▲ 2,355	▲ 18,923	100%
中国	228,008	211,190	261,346	249,632	236,452	214,779	8,444	3,589	▲ 24,894	▲ 34,853	83%
九州・沖縄	307,884	284,019	338,071	296,060	325,095	280,830	17,211	▲ 3,189	▲ 12,976	▲ 15,230	88%
全国計	3,606,604	3,080,626	3,861,377	3,466,171	3,728,050	2,958,948	121,446	▲ 121,678	▲ 133,327	▲ 507,223	82%